

日本シイムケイ株式会社

証券コード:6958

CMK
Creating the future

第65期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

CMK



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当連結会計年度における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、海外の景気後退懸念、継続的な物価上昇や為替変動などを注視する必要がありますが、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、地政学リスクに加えて、中国および欧州経済の停滞、各国の通商政策動向による世界経済の悪化懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、各国の自動車需要回復が鈍いことなどにより、受注は未だ低調に推移しております。

当社グループは、注力分野の走行安全系向けの販売が順調に推移したことや為替影響などにより、連結売上高は954億86百万円（前期比5.4%の増収）となりました。

利益面につきましては、売上高増加の影響に加え、生産工場の稼働率は低調に推移しているものの、生産性向上や為替影響などにより、営業利益は38億7百万円（前期比7.9%の増益）となりました。

経常利益は、営業利益の増加や円が対米ドルおよびタイバーツで通貨安に推移したことなどによる為替差益19億57百万円を計上したため、55億33百万円（前期比

15.4%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は、37億89百万円（前期比1.7%の減益）となりました。

当社を取り巻く事業環境は激しく変化をしております。当社主力の車載市場においては引き続きCASE領域の受注促進に注力してまいります。

また、非車載である新事業領域においてはさらなる拡販を推進し、企業価値向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 石坂嘉章

今後の見通しについて

今後の世界経済は、主要国の政策変更に伴う各国経済の減速懸念や、不安定な為替等、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

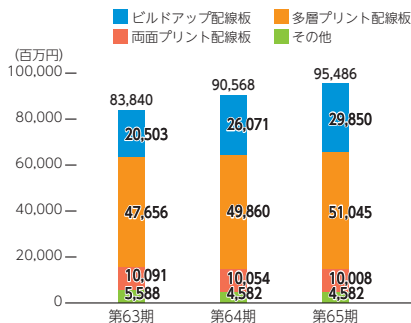
また自動車業界においても同様にその影響を受け、不透明な状況が続くと予想されますが、中長期的にはADASや自動運転技術の進化による制御複雑化に伴い、搭載されるECUの数も増加・複雑化し、当社グループ主力の車載プリント配線板の需要は拡大するものと見込まれます。

当社グループは2023年11月に中期経営計画を見直しました。主要顧客の中長期需要が強いことや、地政学リスク回避の流れを背景とした当社タイ工場に対するニーズの高まりを受けて、成長加速を実現する為にタイに新工場を建設しました。2024年8月より信頼性評価基板の生産を開始し、顧客承認活動を行ってまいりましたが、自動車の全体需要停滞に伴い、量産稼働につきましては、2025年10月から開始といたしました。

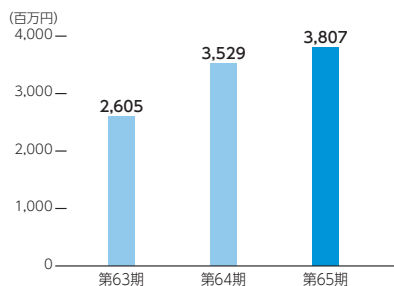
足元厳しい事業環境は続いているものの、競争優位性のある車載製品への注力強化、車載製品ポートフォリオのさらなる高付加価値シフト等の車載成長戦略は順調に推移しております。

また、車載以外の新事業領域をもう一つの柱とすべく、技術力の強化を図っております。その中で、当社は2025年4月25日付けにて株式会社ダイワ工業が保有する「DPGA基板」の特許に関する通常実施権許諾契約を締結いたしました。DPGA基板は放熱性、接続信頼性、軽量化が特徴の基板であり、本技術によって、今後のプリント配線板に求められる放熱ニーズに対応し、新事業領域における設計、企画提案の幅を広げ、さらなる拡販を推進し、中期経営計画の達成を目指してまいります。当社はこれらの課題に適切に対応し、企業価値の最大化および持続可能な成長の実現を目指してまいります。

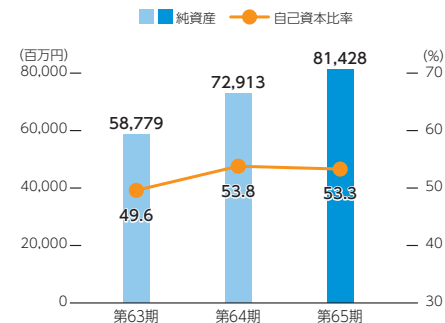
売上高



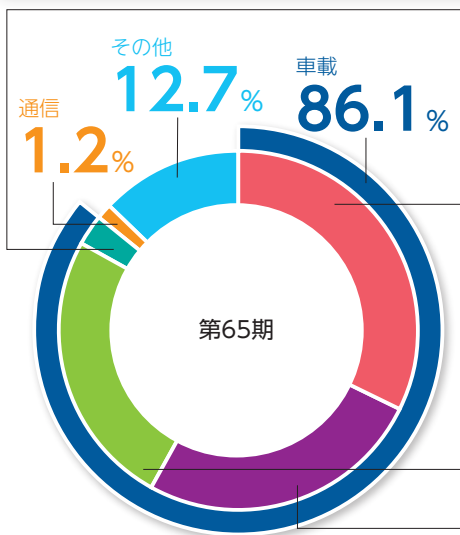
営業利益



純資産・自己資本比率



用途別売上高情報



車載 ボディ・快適系

25.0%



実績

貫通多層/IVH
高放熱配線板
PPBU配線板

ボディ・快適系

メーターパネル
エアコン
パワーウィンドウ
ヘッドライト

車載 情報通信系

2.8%



実績

貫通多層/IVH
PPBU配線板
リジッド・フレックス配線板

車載 走行・安全系

26.0%

実績

ABS 電動パワステ
VSC エアバッグシステム

走行・安全系

貫通多層/IVH
PPBU配線板



車載 パワートレイン系

32.3%

実績

貫通多層/IVH
PPBU配線板

パワートレイン系

ハイブリッドECU
エンジンECU



用途別	64期	65期	増減
車載	85.6%	86.1%	0.5%
■ パワートレイン系	34.2%	32.3%	△1.9%
■ 走行・安全系	24.3%	26.0%	1.7%
■ ボディ・快適系	23.1%	25.0%	1.9%
■ 情報通信系	4.0%	2.8%	△1.2%
■ 通信	0.9%	1.2%	0.3%
■ その他	13.5%	12.7%	△0.8%

高放熱基板の販路拡大に向けた契約を締結

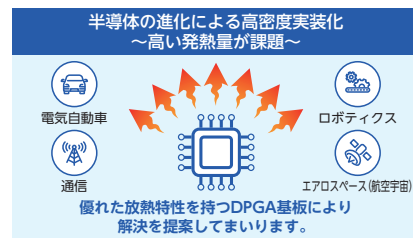
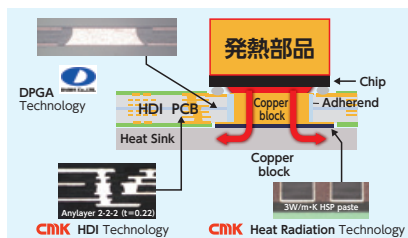
当社は、2024年10月頃より交渉を進めてまいりました株式会社ダイワ工業との間で放熱プリント配線板（以下「DPGA基板」）に関する通常実施権許諾契約を締結いたしました。

「DPGA基板」は放熱特性に優れたプリント配線板工法による基板で、従来の銅インレイ基板やアルミ基板の代替が可能で、薄型化、Fine化、多層化、ビルドアップ化しやすい放熱基板です。株式会社ダイワ工業は1967年創業の、産業機器市場を中心に放熱プリント配線板を開発、生産、販売しているメーカーであり、今回の締結で当社の開発力、生産技術力、量産能力、グローバル展開力と協業することで、お互いに「DPGA基板」の市場拡大が可能となります。

今後のプリント配線板は、自動運転およびEV化する自動車、通信、ロボティクス、エアロスペースなどの分野で、市場の急速な伸長と、それに伴う半導体、電子部品点数の増加が見込まれます。各部品の発熱量が増加するとともに部品実装密度の高まりにより更に発熱量が増加し、それら熱への解決が市場ニーズとなります。当社は「DPGA基板」を生産、販売することで市場の熱に対するニーズに迅速に対応し、新市場での販路拡大を図ってまいります。



(左) 株式会社ダイワ工業 吉村 栄二社長
(右) 日本シエムケイ株式会社 石坂 嘉章社長



CDP「気候変動レポート2024」において「B」スコアと評価されました

当社は、このたびCDPが公表した「気候変動レポート2024」において、2年連続で「B」スコアと評価されました。

CDPとは、企業や自治体などの気候変動や温室効果ガス排出削減に向けた戦略や取り組みを評価・情報開示する国際環境NGOです。世界中の企業や自治体から収集した環境に関する情報開示を集計・分析し、その取り組みを8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で評価しています。当社の評価である「B」スコアは「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している」ことを示しています。



設置イメージ

また、2050年のカーボンニュートラルへの対応として、各工場で設備更新などの電力削減を進めるとともに、新潟工場では太陽光パネルを設置する予定です。太陽光パネルは2026年以降の稼働を予定しており、約160tのCO₂排出量削減が可能となります。

引き続きグループ一体となって地球環境への負荷低減に取り組み、サステナブルな社会への貢献を目指してまいります。



商号 日本シイエムケイ株式会社
(証券コード6958 日本CMK)

創立 1961年(昭和36年)2月25日

資本金 24,102百万円

従業員数 1,143名(CMKグループ:4,483名)

役員 (2025年6月25日現在)

取締役および監査役

代表取締役会長	大澤 功	社外取締役	佐藤 りか
代表取締役社長	石坂 嘉章	社外取締役	種市 正四郎
取締役執行役員	手戸 邦彦	社外取締役	友井 洋介
取締役執行役員	山口 喜久	常勤監査役	岡部 明広
取締役執行役員	大野 和人	社外監査役	芦辺 真幸
取締役執行役員	高橋 聡	社外監査役	横小路 喜代隆

執行役員

上席執行役員	藤野 敏和	執行役員	宮本 学
上席執行役員	小泉 達也	執行役員	李 敏

主要な連結子会社 (2025年6月25日現在)

国内

- シイエムケイ・プロダクツ株式会社

海外

- CMK ASIA (PTE.) LTD.
- CMKM SDN.BHD.
- CMK CORPORATION (THAILAND) CO.,LTD.
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- 新昇電子(香港)有限公司
- 旗利得電子(東莞)有限公司
- 新昇電子貿易(深圳)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- CMK AMERICA CORPORATION
- CMK (Germany) GmbH

ホームページのご案内

- 製品・技術情報
- IR情報
- 企業情報
- CSR
- 採用情報
- トピックス

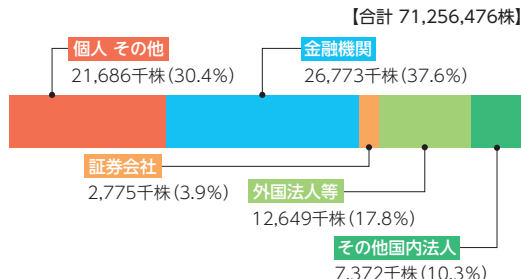
こちらでは詳細な情報を開示しております。



株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	227,922,000株
発行済株式総数	71,256,476株
株主数	18,663名

所有者別 株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,596	14.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,782	6.7
株式会社みずほ銀行	2,576	3.6
一般財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	3.5
第一生命保険株式会社	1,895	2.7
株式会社きらぼし銀行	1,745	2.4
株式会社三井住友銀行	1,613	2.3
佐藤商事株式会社	1,506	2.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,300	1.8
JPモルガン証券株式会社	1,290	1.8

(注) 1. 当社は、自己株式4,595株を保有しております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.cmk-corp.com>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等について
・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)へお申出ください。



〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー43F
電話 03-5323-0231(大代表)

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

